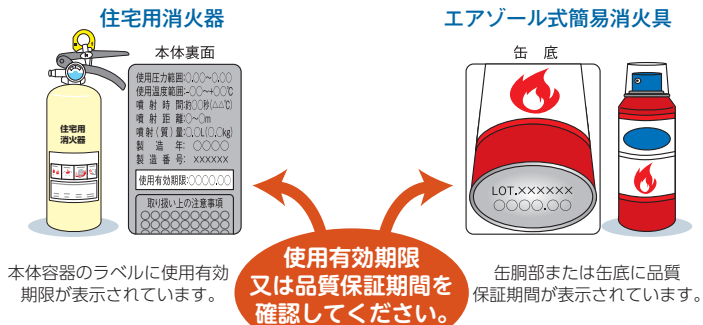


住宅用消火器具にも寿命があります！

安心・安全にご使用いただくためには、使用有効期限又は品質保証期間を守っていただくことが重要です。下記を参考にしてください。



住宅用消火器のチェックをしましょう！

以下について、半年に1回程度は住宅用消火器をチェックしましょう。

- ゲージの針は緑色の範囲内にあるか
- 本体に傷やへこみ、はがれ等はないか

次のような消火器があった場合は、住宅用消火器に交換しましょう！



販売方法・価格について、悪質な訪問販売に注意しましょう！

「役場、消防署の方から来た」「法律で設置が義務になった」などと言って不当な価格で販売する業者がいます。消防職員は訪問販売はしません。即決・契約はせず、怪しいと思ったら、その場で断りましょう。

住宅用消火器共同購入のススメ

いざ住宅用消火器を購入しようと思っても、どれにしたらよいか迷ってしまうものです。こうした場合は、各種量販店やインターネットで購入できますが、共同購入やあっせん販売等、地域でまとめて購入する方法をおすすめします。そうすることで悪質な訪問販売を防ぎ、地域全体として住宅用消火器の設置を推進できます。

住宅用消火器は一般のゴミとして捨てられません！

現在お持ちの住宅用消火器を廃棄する場合は、指定引取場所、あるいは特定窓口（消火器販売店等）へ持っていきましょう。詳しくは、下記のお電話にご連絡いただくかホームページをご覧ください。

エアゾール式簡易消火具の廃棄方法は、自治体によって異なりますので、確認しましょう。

廃棄に関するお問合せはこちらへ

(株)消火器リサイクル推進センター ▶ 03-5829-6773

受付時間 / 9:00~17:00

ただし、土日祝日、休日及び12:00~13:00を除く。

ホームページ <http://www.ferpc.jp>

ゆうパックでの回収を依頼することもできます。

ゆうパック専用コールセンター フリーダイヤル 0120-822-306

置いてありますか？ 住宅用消火器

皆さんのご家庭には

『住宅用消火器』とは？

>> 住宅用消火器には、次のような特徴があります。

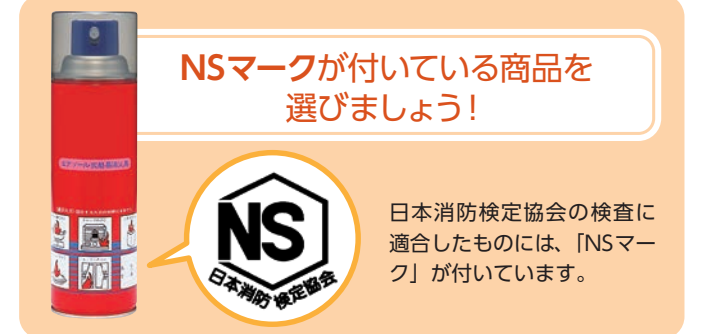
- 家庭内で想定される火災に対応した絵表示が示されています。
- メンテナンスの必要がないため、使用有効期限が表示されています。
- ゲージ（圧力計）により内部圧力が確認できます。
- 外面が、赤色以外のものもあります。



『エアゾール式簡易消火具』とは？

>> エアゾール式簡易消火具には、次のような特徴があります。

- 消火器よりも軽く、力のない方でも持ち運びが可能です。
- 片手で簡単に初期消火が行えます。
- 場所をとらずに置くことができます。

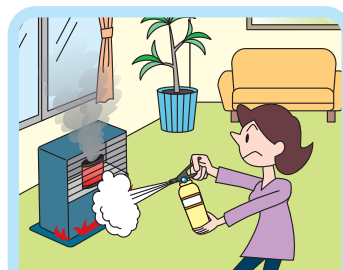


住宅用消火器等の普及に関する検討委員会
財団法人 日本防火協会

火災のとき、あなたは**住宅用消火器**を使えますか？



火元からある程度離れ、安全栓を引き抜き、ノズルを火元に向けます。

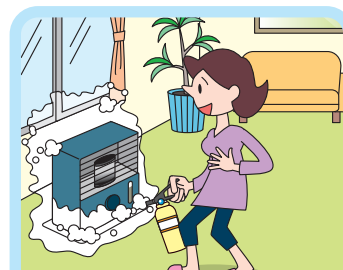


煙等で見づらくなっていますが、しっかり火元を狙います。



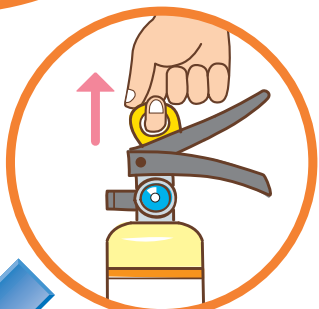
住宅用消火器は約12～22秒間薬剤が放出されます！

※各メーカーによって異なりますので、取扱説明書をお読みください。

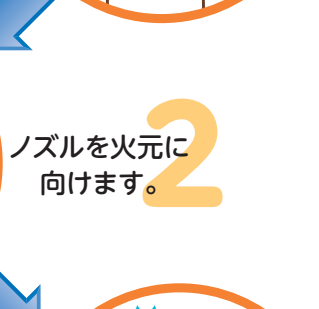


消火を確認します。一度消えたと思っても再発火する可能性があります。最後まで放射してください。

1 安全栓を引き抜きます。



ノズルを火元に向けます。**2**



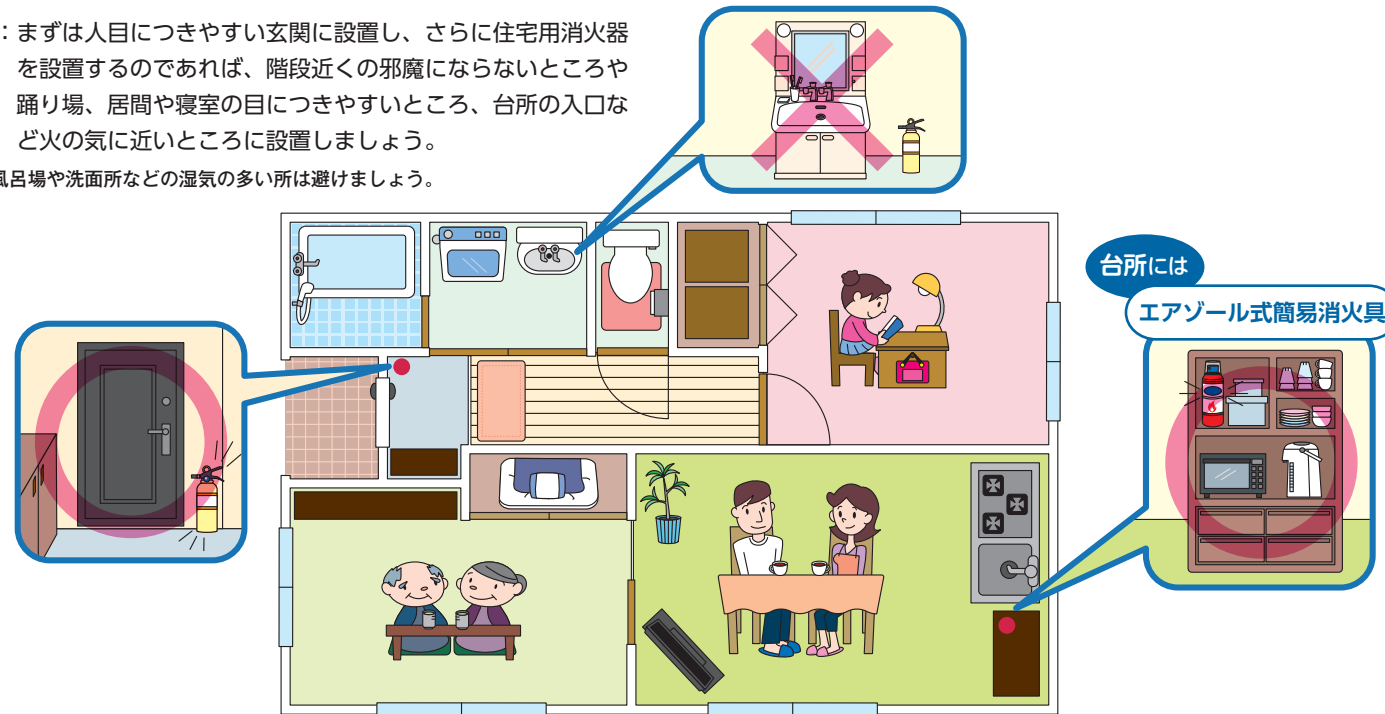
3 片方の手で住宅用消火器の底を持ち、もう一方の手でレバーを力強くギョツと握ります。



住宅用消火器の設置場所 誰も見やすく、取り出しやすい場所にしましょう。

例：まずは人目につきやすい玄関に設置し、さらに住宅用消火器を設置するのであれば、階段近くの邪魔にならないところや踊り場、居間や寝室の目につきやすいところ、台所の入口など火の気に近いところに設置しましょう。

※風呂場や洗面所などの湿気が多い所は避けましょう。



あってよかった**住宅用消火器** — 奏功事例 —

ストーブが…

ストーブに衣類が落下し着火

住人が住宅用火災警報器の警報音に気付き確認すると、子供部屋の反射式石油ストーブに服が落ちて燃えていました。住宅用消火器で初期消火を実施しました。



タバコで…

タバコの火が座布団に落ちて着火

座布団にタバコの火が落ち座布団が燃え上がりました。

住宅用火災警報器が作動し、隣家の主婦がこの警報音に気が付き、自宅の住宅用消火器で消し止めたので、座布団とゴザが少し燃えた程度の火災で済みました。



調理中に…

天ぷら油が発火し、付近のタオル等に着火

天ぷらを揚げていた時に、ガスこんろの火を消さずにその場を離れ、火がついたままであることを忘れてしまいました。その後、天ぷら油の温度が上昇して燃え上がり、付近のタオルやのれんを焦がしましたが、住宅用火災警報器が作動したため火災に気が付き、隣家の男性が自宅の住宅用消火器で消火しました。

